一般質問
（要旨）

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて

公明党昭島市議団　稲垣　米子　議員

質問　東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会について、①市は事前合宿地などの登録申請をしているが、進捗状況は。②パラスポーツの魅力発信として、体験や観戦する機会を多く設ける考えは。③受動喫煙対策について、本庁舎建物内を全面禁煙とする考えは。

答弁　①企業の協力のもと、クライミング施設の事前キャンプ候補地ガイドへの掲載に向け取り組んでいる。②パラリンピック体験プログラムなどを開催し、さらに多くの競技の紹介や体験の機会を設けていく。③現在、分煙化を図っているが、全面禁煙に向けた検討をしていく。

質問　防災対策について、①女性の視点からも備蓄物資などを購入すべき。②細やかなところにも気がつく女性の活躍は必要である。女性消防団員の加入促進を。

答弁　①女性が必要とする衛生用品をはじめ、男女のニーズの違いや育児に配慮した備蓄物資の確保に努めている。②消防団と調整を図る中で協議していきたい。

質問　教育の諸課題について、①特別支援教育事業拡充の内容は。②小学校でプログラミング教育が必修化されるが、市の取り組みは。

答弁　①清泉中学校の特別支援学級に新たに介助員を配置することやつつじが丘小学校の特別支援学級の介助員の増員を予定している。②児童がプログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付ける学習が必要と考える。

質問　産後の健康対策として育児パッケージの中に産後検診の受診券を入れて配付しては。

答弁　医療機関との調整などが必要だが、どのような取り組みが可能か検討する。

質問　巨大地震のリスクを抱える日本は、今後の災害時に、災害弱者をどう社会で守るかが、大きな課題である。災害弱者に対するケアの状況と今後の展開は。

答弁　プロジェクトチームを立ち上げ、避難行動要支援者名簿の策定や平常時から名簿の活用を担う避難支援等関係者との調整を進めている。今後は地域防災計画により地域の特性や実状を踏まえ、避難行動要支援者ごとの個別計画の策定に向けた検討に着手していく。

災害弱者への配慮と対策について

自由民主党昭島市議団　髙橋　誠　議員

質問　街路樹の成長により、太くなった根が歩道の縁石や舗装を持ち上げる根上がりが発生すると、歩道がでこぼこになり、高齢者等の歩行者、車いす、ベビーカーの通行に支障をきたす状況となるが、どのような対策をしているか。

答弁　舗装との間の土が盛り上がっている状況の場合は、根の間の土を取り除き、再舗装することで解消されるため、対応可能な街路樹から順次補修を行っている。しかし、根が舗装を破壊し、直接歩道部分に出てきてしまう状況の場合は、街路樹の植え替えや植樹枡内の改良などが問題の解消になると考えている。現在実施している手法にあわせて、どのような対応が効果的か検討していく。

質問　スマートフォンの普及と共に、歩きスマホや自転車スマホによる事故が多発しており、社会問題となっている。ながらスマホの危険性や対策について、市民や学校での周知徹底・注意喚起が必要と考えるが、市の考えは。

答弁　警察、学校、地域等と連携し、重要課題の一つとして引き続き利用者のモラルやマナーの向上を呼びかけていく。

ご当地発車メロディーの導入について

公明党昭島市議団　渡辺　純也　議員

質問　訪れてみたいまちづくりを進める手段として、昭島にちなんだ発車メロディーの導入は大変効果的と考える。市内に多くの鉄道駅を有する自治体として、ご当地発車メロディーを導入すべきと考えるが。

答弁　地域のＰＲや活性化に有効であると認識しているが、導入にあたっては様々な課題があるため、市域外の駅の導入状況や、地域のＰＲ度、費用対効果等を調査し、検証していく。

質問　子どもたちが語学を身につけたいと思えるきっかけづくりを提供することが重要である。「ＴＯＫＹＯ ＧＬＯＢＡＬ ＧＡＴＥＷＡＹ」は、都教育委員会の主導で江東区に設置された体験型英語学習施設で、学年全体での参加が可能であるため、小中学校で各1回全員が体験できるよう、市として利用すべきと考えるが、所見は。

答弁　体験的に英語を学ぶ機会を、多くの児童生徒に提供することは大変重要と考えており、今後研究する。

質問　美堀町一丁目かけはし公園前の横断歩道は見通しが良いとは言えず非常に危険である。①市道昭島23号の交通量が開通当初より増加する中、これまで実施した交通安全対策は。②この場所に押しボタン式信号機を設置すべきと考えるが。

答弁　①市として、注意喚起の路面表示や横断歩道前後のカラー舗装、横断旗の設置等を行い、昭島警察署では歩道照明用オーバーハング標識を設置した。②昭島警察署に対し、毎年文書で要請しており、同署も警視庁本部と協議していると聞いている。今後も課題を整理しながら、引き続き要請していく。

みんなの昭島をきれいに
（多摩川クリーン作戦）

子どもたちの健やかな成長を支える給食・食育事業を

みらいネットワーク　おおたけ　貴恵　議員

質問　子どもたちの健やかな成長を支えるための給食・食育事業を進めていくことについて、①生きた教材として、学校給食に地場産食材を積極的に取り入れることが重要である。作付け会議など生産者と綿密に連携すべき。②みんなで食べる楽しさを実感できるよう、ランチルームの活用を。③今後、整備する学校給食共同調理場について、災害時にも対応できるバルク供給システムを導入しては。

答弁　①生産者と連携を深め、他市の作付け会議なども参考にしながら、少しでも多くの地場産野菜を使用していきたい。②課題を整理する中で、積極的な活用を検討する。③調理場は防災機能を有する施設として整備する計画である。具体的な設備等は施設整備を進める中で検討していく。

質問　アキシマクジラから見える過去、現在、未来の生物多様性について、①教育福祉総合センターにレプリカと化石が展示予定の中、各課が連携した取り組みを。②市民参加で取り組む生物多様性戦略の考え方は。

答弁　①地理・地形・植物等をどのように紹介できるか、関係部署とも調整する。②生物多様性地域戦略策定に向けた準備会で、市民参加型の組織編成や調査手法なども言及があると考える。

質問　地下水保全条例の策定に向けて、①運営権を丸ごと売却するコンセッション方式は昭島市では有り得ない考えだが、所見は。②流域における水循環の課題解決に踏み出すべき。

答弁　①水道事業は長期性があり、事業者が利益を確保することは難しい。②地下水流域の枠組みの中で健全な水循環を維持していく。

6面下段より

市立福島会館に市の出先機関（出張所）の窓口設置を求める陳情を不採択とする委員長報告について

反対

日本共産党昭島市議団　荒井　啓行　議員

東部出張所の規模とはならないにしても、現在、緑会館などで取り扱っている事務であれば、行政サービス向上や経費的にも検討に値する施策になると考える。

高齢化が進む中、近隣の市立会館で証明書発行などが可能になることは、住民の切実な願いであり、本陳情を不採択とする委員長報告に反対する。

賛成

自由民主党昭島市議団　三田　俊司　議員

市立会館への出張所機能設置及び維持管理については、増改築費や人件費、システム経費などに相当な費用が必要となる。

当面は本庁舎と現在ある出張所、コンビニ交付などで地域のバランスを図りつつ、郵便による交付なども含めてサービスを進めるべきで、本陳情を不採択とする委員長報告に賛成する。

ＪＲ東中神駅南口の東側階段の改善を求める陳情を不採択とする委員長報告について

反対

日本共産党昭島市議団　佐藤　文子　議員

市の説明では、敷地の形状から南口の東側階段に屋根を張りだせないことや、風雨を遮断するために検討した方法は、費用対効果という点で高額になるため、別の方法を検討しているとのことである。改善の必要性は市も認識しており、市民の切実な願いをくみ取るべきで、本陳情を不採択とする委員長報告に反対する。

賛成

自由民主党昭島市議団　森田　久夫　議員

東中神駅自由通路は、駅周辺の活性化のため新旧のまちが見渡せるようになっており、壁等がない開放的な駅として整備されている。

供用開始されて間もないことなどを鑑み、閉塞感のない空間とすることが最善であり、エレベーターなど他の利用方法もあることから、本陳情を不採択とする委員長報告に賛成する。